

## Profile

## 吉田 誠(クラリネット)

Makoto Yoshida, Clarinet

1987年、兵庫県生まれ。5歳よりピアノを、15歳からクラリネットを始める。

2006年、東京藝術大学入学後、渡仏。2008年、リュエル・マルメゾン音楽院を審査員満場一致の最優秀賞ならびにヴィルトゥオーソ賞を得て高等課程を最短2年で卒業。財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生としてパリ国立高等音楽院に首席入学し、ミシェル・アリニョン、パスカル・モラゲス両氏に学ぶ。平成20年度文化庁新進芸術家海外派遣研修員。これまでにクラリネットを浜中浩一、村井祐児、山本正治、松本健司、ロマン・ギュイオ、フローラン・エオーの各氏に師事。10年7月よりロームミュージックファンデーション音楽セミナー(指揮クラス)を受講、小澤征爾、湯浅勇治各氏の元で指揮を学ぶ。

2004年、第9回KOBÉ国際学生音楽コンクール最優秀賞、兵庫県教育委員会賞受賞。2005年、国際クラリネット協会(I. C. A)主催ハイスクールコンペティション第3位。神戸新聞社、神戸文化財団主催第9回松方ホール音楽賞大賞。第19回欧日音楽講座に於いて、ミシェル・アリニョン特別賞を特設され受賞。2006年、トリノ国際音楽コンクール(マルク・フィオリンドクラリネットコンクール)ファイナリスト。2007年、第5回東京音楽コンクール木管部門第1位及び聴衆賞を受賞。2010年、日本管打楽器コンクール第2位。

日本各地でソロ・リサイタルを行うほか、パリで度々リサイタルを開催するなどフランスでも積極的に活動。南仏averoydの音楽祭やフランス国立放送響のサル・ブレイエルのコンサートに出演。2010年には、パリの合唱アンサンブル団体アカネのコンサートを指揮。2011年8月まつもと市民芸術館、サイトウ・キネン・フェスティバル松本共同制作ストラヴィンスキー「兵士の物語」に出演。同年10月国文祭「オーケストラの祭典 in 長岡京」には、指揮者として出演した。

これまでに、大阪フィルハーモニー交響楽団(大植英次指揮)、東京交響楽団(大山平一郎指揮)、東京フィルハーモニー交響楽団(梅田俊明指揮)、日本フィルハーモニー交響楽団(大友直人指揮)、関西フィルハーモニー管弦楽団(藤岡幸夫指揮)、長岡京室内アンサンブル(森悠子監督)など、ソリストとして国内のオーケストラと多数共演を果たしている。



photo by Akihiko Kondoh

## 佐野 隆哉(ピアノ)

Takaya Sano, Piano

東京都立芸術高校、東京芸術大学を経て、同大学院修士課程修了。在学中にアリアドネ・ムジカ賞、卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。第73回読売新人演奏会及び同声会新人演奏会に出演。大学院修了時に、ペーゼンドルファー賞を受賞。渡仏後、明治安田生命クオリティオブライフ文化財団より助成を受け、パリ国立高等音楽院第三課程研究科を修了。同音楽院室内楽科を審査員満場一致の最優秀にて修了。

在学中より、第72回日本音楽コンクール・ピアノ部門第2位を始め、園田高弘賞ピアノコンクール、ホセ・ロカ国際ピアノコンクール(スペイン)等国内外のコンクールで入賞を果たす。2009年、第66回ロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門では、第5位入賞ながら聴衆賞及び特別賞を受賞、満員の観客を魅了した。第16回ショパン国際ピアノコンクールにてディプロマを受賞。平成16年度青梅市芸術文化奨励賞受賞。

内外のオーケストラとの共演も多く、これまでにフランス国立管弦楽団(ディディエ・ベネッティ指揮)、パリ国立高等音楽院オーケストラ(クレール・ルヴァシエ指揮)、東京交響楽団(飯森範親指揮)、大阪フィルハーモニー交響楽団(松尾葉子指揮)等と共演。また、パリ日本文化会館主催「Les nouveaux talents japonais de la musique」(新しい若き日本の才能)を始め、多数のリサイタルや演奏会に出演するなど、これまでにフランスを始めとするヨーロッパ各地で演奏活動を行っている。

これまでにピアノを中野万里子、山城浩一、三井美奈子、松本明、坪田昭三、松浦豊明、クリスチャン・イヴァルディ、ジャック・ルヴィエの各氏に、室内楽を山口裕之、北川暁子、渡辺健二、辛島輝治、ダリア・オヴォラの各氏に師事。

現在、演奏活動の傍ら、東京芸術大学及び国立音楽大学にて、後進の指導にもあたっている。



photo by Foyer